2009年11月16日 (9:30 - 17:30)　東京国際フォーラム (D7ホール)

都市とカーボンマネージメント：科学と政策の連携強化に向けて

国際シンポジウム

午前の部　(9:30 ~)

受付：6階ロビー　(8:30 - 9:30)

使用言語：日英同時通訳

開会式
司会: 花木啓祐　東京大学　教授

挨拶
花木啓祐　(グローバルカーボンプロジェクト(GCP)　科学推進委員/東京大学　教授)
大垣眞一郎　((独)国立環境研究所　理事長)

シンポジウムの目的と概略
Shobhakar Dhakal　(グローバルカーボンプロジェクト(GCP)　事務局長)

招待講演
John Robinson　(ブリティッシュコロンビア大学　資源環境サステイナビリティ研究所　教授)

セッション1：科学から政策決定者へ
座長:　西岡秀三　((独)国立環境研究所　特別客員研究員)
キーワード: 炭素循環と都市、空間的観点、炭素計算、技術とインフラストラクチャー

- Galina Churkina　(ライプニッツ農業景観研究所　グループリーダー)
- 山形与志樹　((独)国立環境研究所　主席研究員)
- Sebastian Carney　(マンチェスター大学　環境開発学科　リサーチフェロー)

午後の部　(13:30 ~)

セッション2：科学から政策決定者へ
座長:　西岡秀三　((独)国立環境研究所　特別客員研究員)
キーワード:　都市の責任と消費の観点、政策手段、ガバナンス

- Anuradha Ramaswami　(コロラド大学　土木工学部　教授)
- Stephen Hammer　(コロンビア大学　都市エネルギープロジェクト長)
- JoAnn Carmin　(マサチューセッツ工科大学　都市研究計画学部　准教授)

セッション3：政策決定者から科学へ
座長:　Dan Hoornweg　(世界銀行　都市と気候変動　リードスペシャリスト)
東京、ロンドン、シカゴ、ジャカルタ、デリーの観点から

- 西田裕子　(東京都環境局)
- David Hutchinson　(明治大学　ガバナンス研究科　客員教授　前:大ロンドン庁職員)
- Joyce Coffee　(シカゴ市環境課)
- Aisa Tobing　(ジャカルタ政府　ガバナーアシスタント)
- 未定　(デリー政府　公害防止委員会)

セッション4：科学と政策の連携強化に向けて
座長:　大林ミカ（一般社団法人Office Ecologist　ディレクター）

- 藤塚哲郎　(アジア太平洋地球変動研究ネットワーク　ディレクター)
- Dan Hoornweg　(世界銀行　都市と気候変動　リードスペシャリスト)
- 森秀行　((財)地球環境戦略研究機関　副所長)
- 岸上みち枝　(一般社団法人イクレイ日本　事務局長)
- Kyungkoo (Philip) Kang　(国連アジア太平洋経済社会委員会　エネルギーセキュリティー課　経済局オフィサー)

主催

グローバルカーボンプロジェクト
(独)国立環境研究所

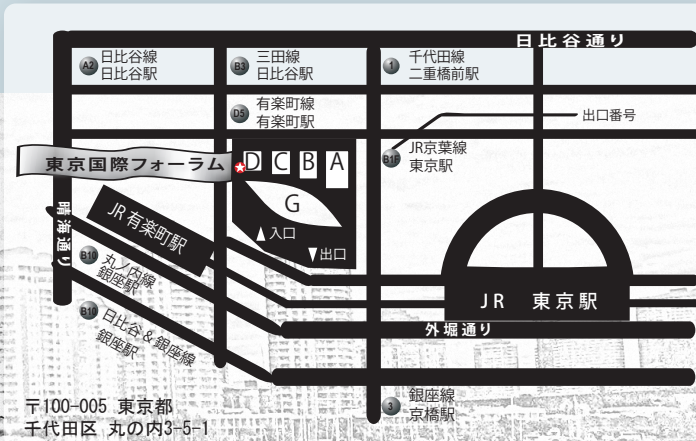
東京大学サステイナビリティ学連携研究機構

Web
www.gcp-urcm.org
en.ir3s.u-tokyo.ac.jp

お問合せ:　尾島優雅子
グローバルカーボンプロジェクト　つくば国際オフィス
(独)国立環境研究所

茨城県つくば市小野川16−2
tel: 029 - 850 - 2672; fax: 029 - 850 - 2960
email: ojima.yukako@nies.go.jp

プログラムと事前登録
www.gcp-urcm.org/A20091116/HomePage



このシンポジウムは文部科学省科学技術振興調整費の支援を受けています。